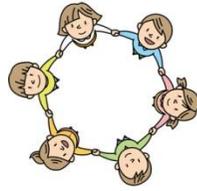


心の輪32R



『自由の意味』という資料を通して、
「自由を守るために大切なこと」を考えました！



『自由』は『好きなことができる』など、自分たちにとって良いイメージがある一方、『人によって言葉の受け取り方が違う』など、『自由』だからこそその難しさがある。外部の圧力などに囚われない『真実を読みとる力』を養うためにはどうすればいいのだろうか？



誠実な心の中に、誰でも『偏見』『差別』などといった異物はあると思う。その異物を取り除くためには、勝手な思い込みをせずに、ちゃんと他人の意見を聞いたら、真の自分の考えが見つかるのかもしれない。また、相手の真の心が見えてくるのかもしれない。

勝手に、それをした人や書いた人の気持ちを決めつけて否定していたら、誰が何をしても全部ダメになり、自由はなくなる。何も考えずに否定するのではなく、その人の考えを受け入れないといけないと思った。

生きている限り、相手のことを考えたり、自分自身を変えたりすることが必要だと思います。また、そのためには、思いやりの心を持つことが大事だと思います

自分勝手な決めつけや、思い込みから生まれる否定的な考え方、差別や偏見などは、一人一人の自由を奪ってしまうから良くないと思う。

自分勝手に決めつけたりせず、人の意見や気持ちを取り入れたりすることも大切だと思った。思い込みなどから否定的な考えが生まれてしまうことがあるから、自由に考えて相手のことも考える必要がある。

世界人権宣言 (抜粋)

【前文】
人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎であるので… (以下略)

【第一条】
すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

【第二条】
1 すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。(2以下略)

「……人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」世界人権宣言、第一条の文言である。
ここで述べられていることが達成できれば、どれだけ世の中が明るくなることだろう。近い将来、私たちが社会の担い手となる。差別や偏見を憎み、それを断固として許さないという強い思いを、自分の中に、そして社会全体に育てていきたい。



文部科学省資料
『私たちの道徳』(P.161)より引用

相手の考えを読み取り、賛成するところを探すことにより、心が開かれる。世の中の人間は十人十色の性格だから、自分の考えで何かを主張したら、絶対批判する人がいるし、全員が納得することなんてないと思う。

私は『異物』を混入させないためには、固定観念に囚われない様々な考え方をすることができるような、自由な心を持つてほしいと思いました。自分の考え方もあれば、他人の考え方もあることが分かりました。

自由の意味とは、人の権利と人の心と人の理解だと思います。心に異物を混入させるとは、固定的な考え(決めつけること)を持ち続けている、人の考えや意見を純粋に見られないことだと思いました。